

📱 **人間健康学部 ホームページ**

人間健康学部のさらに詳しい情報、最新のトピックスを知るには「人間健康学部ホームページ」をご確認ください。学部の特色や卒業生の声、「学生的一天」などのキャンパスライフ情報など、人間健康学部に触れるここだけの情報が充実しています。



📱 **関西大学 入学試験情報総合サイト Kan-Dai web**

オープンキャンパスなどのイベント情報や入試に関する最新情報など、受験生を応援するコンテンツが満載！社会で活躍する卒業生インタビュー、学生インタビューなども随時更新しています。



関大 入試 検索
/クリック！\



関西大学の最新情報をチェックしよう！

LINE 関西大学 入試センター
公式アカウント



友だち登録はこちらから！

Instagram 関西大学 入試センター
公式Instagram



X 関西大学 入試広報グループ
公式 X



YouTube 関西大学 入試センター
公式YouTube



南海電鉄でのアクセス

南海高野線「浅香山」駅（なんば駅から約20分）下車、すぐ。

新幹線「新大阪」駅からのアクセス

JR「新大阪」駅からOsaka Metro御堂筋線「なかもず（方面）」行で、「なんば」駅下車、南海高野線に乗り換え「浅香山」駅下車、すぐ。

大阪国際（伊丹）空港からのアクセス

大阪国際空港から空港リムジンバスでなんば駅前下車、南海高野線に乗り換え、「浅香山」駅下車、すぐ。



関西大学

人間健康学部

URL https://www.kansai-u.ac.jp/Fc_hw/ 〒590-8515 大阪府堺市堺区香ヶ丘町1-11-1
Tel. (072) 229-5022 e-mail sakai1@ml.kandai.jp

人間健康学部

FACULTY OF HEALTH AND WELL-BEING

人間健康学科

スポーツと健康コース

福祉と健康コース

こころ、からだ、くらしを「健幸」にする学び

well-being

CONTENTS

学部長メッセージ	01
スポーツと健康コース	03
福祉と健康コース	05
人間健康学部のカリキュラム	07
国際的な学び	09
地域連携事業	10
課外活動	10
キャンパスカレンダー	11
教員紹介	12
就職実績	13
卒業生インタビュー	13
堺キャンパス紹介	14



関西大学人間健康学部をめざす皆さんへ

より良く生きる・生きられる社会づくりを「健幸」からアプローチする

人間健康学部の学びのメインテーマは「健康 (health)」と「健幸 (well-being)」です。「こころ」「からだ」「くらし」を総合的にとらえ、自らが健康で幸せにいられることはもちろん、誰もが健やかで幸せにくらせる社会を実現することを追究しています。そのために人間健康学の体系的なカリキュラムのもと、学際的かつ実践的アプローチによって、「生き方」としての「健幸」を総合的に学びます。

「生き方」、つまり「どう生きるか」を探究する上で、人間健康学部では「何を学ぶか」とともに、「どう学ぶか」ということを大切にしています。

一人ひとりが「健幸」にくらせる社会は、身近な地域社会から地球全体のレベルに至るまで、人と人、人と環境とのつながりを抜きに考えることはできません。

あなたも人間健康学部で、他者を尊重し互いに支え合う体験学習や、地域との実践的な関わりの体験を積みながら、「健幸」の実現に取り組んでみませんか。



人間健康学部長
所 めぐみ 教授



人間健康学部

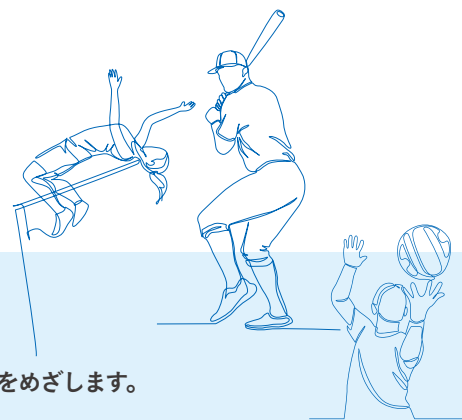
Q & A

みなさんからのよくある
ご質問にお答えします。

下記の二次元コードからアクセス！



スポーツと健康コース



スポーツと健康コースでは、スポーツ活動を通しての人間形成やコミュニティの再生、新たな人間の健康のあり方を探り、地域において活躍できるスポーツ指導者などの養成をめざします。身体に関わる文化的・科学的な基本知識と、健康に関する幅広い知識をもった実践力と指導力のあるスポーツ指導者などを育成します。



スポーツと健康コース 2年次生
数河 なつさん
大阪／府立花園高校出身

海外で子どもたちにスポーツを教えるという夢が見つかりました。

筋肉の構造や体の仕組みなどを、一から学ぶことができるスポーツと健康コース。私はトライアスロンサークルに所属しており、学んだことを生かしてトレーニングに励んでいます。入学当時は、漠然とスポーツに関わる仕事がしたいと考えていました。明確な目標ができたのは、国際健康福祉実習でインドネシアへ行ったときのことです。経済的に貧しい小学生たちが通う施設を訪れ、現地の子どもたちと交流しました。そこで目の当たりにしたのは、子どもがスポーツに触れる機会があまりに少ないという現状です。それから、海外で子どもにスポーツを教えることが私の夢となり、大学の勉強に加えて、インドネシア語の習得にも力を入れています。

スポーツを軸にした

幸せな暮らしに欠かせないことが

たくさん学べます。



▶ 数河さんの4年間の学び

1年次	2年次	3年次	4年次
学んだことを生かしながら、スポーツにも打ち込む日々。	より専門的な学びで、一歩深いスポーツの世界へ。	1年間休学して、インドネシアへ留学予定。	自分の力でゼロからイベントを立ち上げたい。
スポーツ分野と福祉分野の授業を受けて、それぞれの基礎を学びました。スポーツ生理学で学んだ筋肉の構造や仕組みは、トライアスロンのトレーニングにも役立っています。	スポーツと健康コースを選択し、体の原理から知るトレーニング論や、スポーツの指導について学ぶコーチング論など、より専門的なことを学びました。	インドネシア語を習得するために1年間の留学を予定。子どもたちにスポーツを教えるために協力をしてもらえそうな人や場所も調査する予定です。	地域の高齢者に向けたスポーツイベントなどを、何もない状態から立ち上げて、自分で行動を起こせる力と実績を作りたいと考えています。

数河さんの時間割をwebでも紹介しています。



PICK UP 講義



スポーツ感性学

【志岐 幸子教授】

スポーツにおいて最高の能力を発揮する「ゾーン」でトップアスリートや指導者が働かせている感性の事例を取り上げながら、感性の仕組みや働きを理論的に解説します。また心理学や東洋思想、脳科学などの知見も紹介し、ゾーンの意義についての理解を深めます。



救急安全法

【灘 英世教授】

とっさのときやスポーツ活動中のけが、病気に対する正しい手当の知識と技術を身に付け、日常生活の中で実践することで、自分自身の身を守るだけでなく急病人やけが人を正しく救助することができます。より積極的に健康な生活を築いていけるよう、心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動器)の正しい使用方法、傷や骨折の手当、包帯法などの知識と技術を習得し、救急安全の具体的な方法を学びます。



レクリエーション支援論

【涌井 忠昭教授】

わが国におけるレクリエーション活動は、人間にとつての「楽しみ」を創り出す領域として発展してきました。近年はその対象が拡張され、「人間交流」の場づくりや、高齢者や障がい者の「楽しみ」や「生きがい」づくりなどを支援するためのプログラムが開発されています。本講義では、こうしたレクリエーション支援の基礎的な理論と実際について、学習します。



TOPICS

保健体育科教員をめざすみなさんへ

スポーツと健康コースでは、スポーツの技術指導だけでなく子どもたちが生涯にわたってスポーツに関われるような資質を育てる授業を企画できる教員の育成や学校と地域との連携をコーディネートしたり、子どもたちの悩みにも相談に乗ることができるカウンセラーとしての役割も担える教員養成をめざしています。また、教職相談室では、教員を志望する学生のみなさんを支援するために、教職に関するさまざまな情報を提供しており、学校現場の現状や課題を熟知した実務経験豊富な担当教員が教員採用試験に向けてのアドバイスや教員採用試験模擬面接を行っています。



DATA



教員免許取得者数
※2024年3月卒業生実績

中学校教諭
一種免許状

51人

高等学校教諭
一種免許状

61人



教員採用試験合格者数
※2024年3月卒業生実績

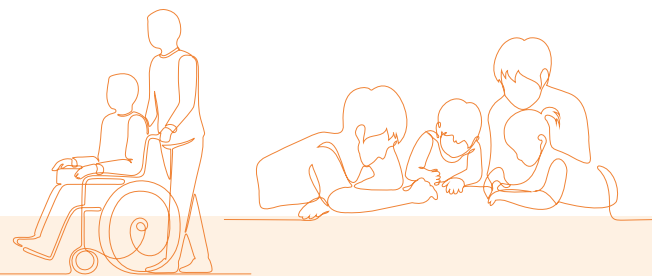
5人

保健体育科教員 をめざす

現職の教員をキャンパスに招いて実技指導や講演会を開催するなど、教員採用サポートが充実!

1年次 基礎的な知識を身に付ける	2年次 専門的な知識を身に付ける	3年次 実践力を身に付ける	4年次 習得した知識や実践力を「考動」することで高める	将来の職業イメージ例
	体力向上スクールサポーターとして活動 堺市の小・中学校で体育の時間や放課後に子どもたちと身体を動かし、学校現場を体験する!	学校インターンシップ 教職関連科目で教員に必要な実技を修得 免許取得に必要な科目を履修	中学校、高校での教育実習(5月～6月) 小学校での教育実習 ※小学校教諭一種免許状取得プログラム履修者のみ 教員採用試験(6月～8月) 模擬面接や先生方の実技指導など全面的なサポート体制でしっかりと教員採用試験への準備を行うことができます!	■ 保健体育科教員(中・高) ■ 小学校教員 など

福祉と健康コース



福祉と健康コースでは、これまでの社会福祉のあり方や実践を人間の生活環境と健康との関係からとらえ直し、地域コミュニティにおける福祉文化の構築などの諸課題の解決に挑んでいきます。

社会福祉に関する基礎理論と実践的なアプローチから福祉専門職として個人や家庭の生活課題の解決を支援し、福祉コミュニティ創りに寄与できるソーシャルワーカーを養成します。



福祉と健康コース 4年次生
小西 凌生さん
兵庫／県立北須磨高校出身

実務に直結する学びが、福祉を志す思いをより強くする。

福祉と健康コースの特徴は、実践的な学びが多いことです。実際に施設で働く方にお越しいただいて話を聞いたり、障がい者の方が学ぶ施設と交流会を行ったりなど、早い段階から知識と経験を積むことができます。中でも私が最も印象に残っているのは、3年次に高齢者施設へ実習に行ったことです。実習に行くまでは、施設を利用している方は、みんな楽しく暮らしているのだと思っていました。しかし、穏やかに過ごしている方がいる一方で、自分の家に帰りたいと願う人もおり、その時、初めて複雑な思いを抱えて過ごしている利用者さまもいることを知りました。こうした方の心を少しでも軽くできるように、一人ひとりに寄り添える社会福祉士をめざしたいと思います。



もっと福祉のことを学びたいという
向上心を育ててくれる場所です。

▶ 小西さんの4年間の学び

1年次	2年次	3年次	4年次
福祉とスポーツ領域の基礎を学んだ1年。	福祉と健康コースを選び、より実践に近い学びへ。	実習やゼミがスタートし、より深く、より実践的な学習に。	福祉施設でのアルバイト経験を基に論文を作成。
1年次は福祉とスポーツの両分野の授業を受講し、幅広い分野の基礎知識を習得。その一方で、目標にしている社会福祉士になるために必要な専門科目も受講しました。	コース選択で福祉と健康コースを選び、より専門的な学びがスタート。実習に向けた授業も始まり、福祉の仕事をより具体的に想像できるようになりました。	実習で特別養護老人ホームへ行ったり、ゼミでは社会運動家を研究することで、福祉が担う社会的な役割の重要性を実感し、より福祉への思いが強くなりました。	福祉事業所における職員間のコミュニケーションをテーマにした卒業論文を作成。卒業後は大学での学びを生かし、一日でも早く施設の力になれるように頑張ります！

小西さんの時間割をwebでも紹介しています。



PICK UP 講義



ソーシャルワーク演習Ⅱ

【西川 知亨教授】

この講義では、社会福祉専門職に求められる相談援助に必要な知識と技術を学びます。児童虐待や高齢者の在宅介護など、相談援助における課題別のケース検討を通して、基本的視点やアプローチを学ぶとともに、少人数でのワークを通じて、援助過程の理解を深めます。最終的には総合的かつ包括的な実践活動に必要な知識の習得をめざします。



地域福祉論Ⅰ・Ⅱ

【所 めぐみ教授】

地域福祉とは何か、なぜ地域福祉なのか。また、誰が、どのような人々や団体・機関と、どのような仕組みの中で、どのような方法で進めている（進めようとしている）のか。「地域福祉」の理念・概念を、国内外の実践とその歩みに学び、地域福祉実践の主体形成や地域の福祉力の醸成と向上について、その課題を検討します。



子ども家庭福祉論

【山縣 文治教授】

子どもが生まれながらに備えている「生きる力」を伸ばす支援をするために、今の親子が置かれている虐待や貧困、障がい、待機児童といった社会状況について学んでいきます。また「子ども家庭福祉」という概念が出てきた背景や内容、政策動向などについて理解を深めます。



福祉の専門職をめざすみなさんへ

TOPICS

福祉と健康コースでは、一定の要件を満たせば社会福祉士国家試験の受験資格を取得することができ、国家試験対策のための講座や自主勉強会も定期的に開催しています。福祉実習担当室では、社会福祉士をめざす学生のみなさんがスムーズに安心して国家試験の受験に必要な実習が行えるよう、専門スタッフが全面的にサポートしており、手続きや各種情報提供などを行っています。



DATA



社会福祉士国家試験合格率

91.4%

32人が合格

※2024年3月卒業生実績

福祉の専門職 をめざす 社会福祉士の合格率は非常に高く、他大学や全国平均よりも優れた実績を誇っています！

1年次 基礎的な知識を身に付ける	2年次 専門的な知識を身に付ける	3年次 実践力を身に付ける	4年次 習得した知識や実践力を「考動」することで高める	将来の職業イメージ例
社会福祉士の受験資格に必要な専門科目を修得		○ ソーシャルワーク実習Ⅱ (10月頃) ※実習日程は実習先により異なります	○ 模擬試験 ▲自分の弱点を分析！ ▲複数回の模擬試験を実施し自身のレベルを確認！ ○ 社会福祉士国家試験受験 (2月) ▲社会福祉士国家試験対策講座 (9月～12月) で万全の受験対策！ ○ 社会福祉士 国家試験合格発表 (3月)	■ 社会福祉専門職 ■ 福祉関連企業 など
	○ ソーシャルワーク実習Ⅰ (11月頃) 💡 実習先の検討にあたっては、先生や福祉実習担当室のスタッフが親身にサポートします！	○ 社会福祉士自主勉強会 💡 教員が、学生のグループ学習を支援するとともに、社会福祉に関する話や現場で働いているソーシャルワーカーとの交流など積極的に勉強会を実施しています！		

人間健康学部のカリキュラム

スポーツや福祉の枠組みを超えた幅広い知識や視野、柔軟な思考を人間健康学プログラム群を通して磨き実践的スキルの習得をめざします。



人間健康学プログラム群

- 人間関係学プログラム
- レクリエーションなどの体験学習法と、ソーシャルワークなどの社会福祉学に関する科目を学びます。
- ユーモア学プログラム
- 健やかで幸せな暮らしを構成するユーモアと笑いについて、その特徴と機能を専門的に学びます。
- 地域デザイン学プログラム
- グローバル化する世界の動向を踏まえて、地域社会に根差してローカルに活躍できる人材を育成します。
- 臨床心理学プログラム
- 臨床心理学の基礎から多様な分野での応用まで幅広く学び、「心ころの健康」について理解を深めます。

人間健康学部で取得できる資格

- 社会福祉士国家試験 受験資格※1
- 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者※3
- レクリエーション・インストラクター
- 中学校・高等学校教諭一種免許状(保健体育)
- 健康運動指導士 受験資格
- 初級パラスポーツ指導員
- 司書教諭※2
- 健康運動実践指導者 受験資格
- 社会福祉主事
- 児童福祉司
- 身体障害者福祉司
- 知的障害者福祉司
- 任用資格(公務員として採用され、特定の職業ないし職位に任用されるための資格)
- ※1 福祉と健康コースの定員は100名です。
- ※2 司書教諭の資格取得に関する科目を履修する場合は、千里山キャンパスでの受講が必要です。
- ※3 資格取得に必要な基礎的な科目の修得が可能です。

取得できる資格の一例

健康運動指導士・健康運動実践指導者

活躍できる職種

フィットネスクラブ、病院、介護老人保健・福祉施設など

認定団体:公益財団法人 健康・体力づくり事業財団

保健医療関係者と連携し、個々人に対応した運動プログラムを作成する(健康運動指導士)、医学的基礎知識に基づき健康づくりのための運動プログラム実践指導を行う(健康運動実践指導者)といった活動を通し、その知識・技能を生かして人のサポートをする資格です。

レクリエーション・インストラクター

活躍できる職種

幼児保育・学校、高齢者福祉施設など

認定団体:公益財団法人 日本レクリエーション協会

子どもから高齢者まで幅広い対象に向けて、スポーツや集団遊び、野外活動といったレクリエーション活動を効果的に活用し、「集団をリードする」「コミュニケーションを促進する」「楽しい空間をつくる」といった「心ころの元気づくり」を行う資格です。

公認スポーツ指導者

活躍できる職種

総合型地域スポーツクラブ、学校など

認定団体:公益財団法人 日本スポーツ協会

スポーツの価値やスポーツの未来への責任を自覚し、プレーヤーズセンタードの考え方のもとに暴力やハラスメントなどあらゆる反倫理的行為を排除し、常に自らも学び続けながらプレーヤーの成長を支援することを通して、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることに貢献する資格です。

初級パラスポーツ指導員

活躍できる職種

地域スポーツクラブ、学校など

認定団体:公益財団法人 日本パラスポーツ協会

障がい者のスポーツ参加のきっかけ作りを支援したり、健康や安全管理に配慮した指導を行い、スポーツの喜びや楽しさを伝える資格です。

カリキュラム

※このカリキュラムは2024年度のものです。

1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
基本的知識の習得。		体系的に応用科目を受講。		個人の研究テーマを設定・研究し、卒業論文・卒業研究に取り組む。			
共通教養科目・外国語科目							
専門教育科目	基礎科目						
	応用科目	各コース共通科目・連携科目					
	スポーツと健康コース 科目						
	福祉と健康コース 科目						
	演習科目						
選択科目・自由科目							
専門教育科目	基礎科目	人間健康論 スポーツと健康 健康支援の社会システム 身体文化と健康	身体表現と健康 健康の文化史 体育史 こころと健康	衛生学及び公衆衛生学 社会福祉概論 医学一般 当事者福祉論	精神保健福祉論 臨床心理学入門Ⅰ・Ⅱ スポーツ生理学 救急安全法	社会福祉政策Ⅰ・Ⅱ ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱ ユーモア学入門 笑い与健康	人間関係学入門 地域デザイン学入門 社会調査法 介護概論
	各コース共通		〈からだと健康を考える〉 スポーツ原理 スポーツ教育学 スポーツ栄養学 運動処方論 グループダイナミクス演習 臨床バイオフィードバック 体力科学 〈こころと健康を考える〉 スポーツ心理学 身心教育学 身体表現論 武道論 学びの身心教育学 福祉臨床心理学 生殖心理学 共感と多様性 メンタルヘルスと臨床心理学 地域支援と心理学 臨床心理学特定課題Ⅰ・Ⅱ 〈くらしと健康を考える〉 身体の文化人類学 人間行動論 笑いの文学 笑いの民俗学 笑いの行動学 リハビリテーション論 フィールド調査法 家族福祉論 臨床死生学 コミュニケーション演習			〈からだと健康を考える〉 地域スポーツデザイン演習 〈こころと健康を考える〉 身体文化論 心理学演習 子育て支援の心理学 臨床心理学特定課題Ⅲ・Ⅳ 〈くらしと健康を考える〉 福祉レクリエーション論 老人・障害者の理解 社会福祉調査法 ユーモアコミュニケーション演習	
	健康コース	スポーツ運動学 スポーツ社会学 スポーツ経営学 スポーツ医学 学校保健	生涯スポーツ論 スポーツ感性学 コーチング論 スポーツ文化論 スポーツ動作の仕組みと制御	レクリエーション支援論 トレーニング論	スポーツ方法学 障害者スポーツ論 スポーツ統計学 地域スポーツデザイン論		
	福祉コース	ソーシャルワーク論Ⅲ～Ⅵ 高齢者福祉論 子ども家庭福祉論 障害者福祉論 公的扶助論	地域福祉論Ⅰ・Ⅱ 医療福祉論		社会福祉経営論 司法福祉 社会保険論Ⅰ・Ⅱ 権利擁護と成年後見制度 社会起業論		
	連携科目		テーマ研究Ⅰ・Ⅱ(各テーマ)				
	演習科目	導入演習	基礎演習		専門演習Ⅰ・Ⅱ		卒業演習Ⅰ・Ⅱ 卒業論文 卒業研究
	選択科目	スポーツ方法実習Ⅸ(球技2) 寄附講座(各テーマ) 臨床心理実習 国際健康福祉実習(各テーマ) 人間健康学海外研修(各テーマ) 国際健康福祉論(各テーマ)	スポーツ方法実習Ⅰ(陸上競技) スポーツ方法実習Ⅲ(器械運動) スポーツ方法実習Ⅶ(ダンス) スポーツ方法実習Ⅷ(球技1) 野外教育実習(野外活動) トレーニング実習Ⅰ・Ⅱ 健康運動実習Ⅰ・Ⅱ レクリエーション実技Ⅰ・Ⅱ 身体表現Ⅰ・Ⅱ	運動処方実習 予防医学 ストレスとセルフコントロール カウンセリング心理学Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅰa・b ソーシャルワーク実習指導Ⅰa・b ソーシャルワーク実習Ⅰ	スポーツ方法実習Ⅱ(水泳) スポーツ方法実習Ⅳ(武道1) スポーツ方法実習Ⅴ(武道2) スポーツ方法実習Ⅹ(球技3) スポーツ方法実習Ⅹ(球技4) 地域スポーツ演習 実地研究 健康運動指導演習 野外活動特別演習	増健科学演習 複雑性社会における自己実現 カウンセリング心理学Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習Ⅱ 社会福祉制度研究Ⅰ・Ⅱ(各テーマ)	ソーシャルワーク演習Ⅲ 社会福祉制度研究Ⅲ・Ⅳ(各テーマ)
	自由科目	教職概説 教育原理	教育制度論 人権教育論 教育心理学 特別活動論 道徳教育の理論と方法 教育の方法及び技術 (情報通信技術の活用を含む) 教育相談論	保健体育科教育法(一)・(二) 学校経営と学校図書館 情報資源組織論 図書館情報資源概論 学習指導と学校図書館 読書と豊かな人間性 情報メディアの活用	特別支援教育論 カリキュラム開発論 総合的な学習の時間の指導法 生徒・進路指導論 教育実習事前指導 保健体育科教育法(三)・(四)		教育実習(一)・(二) 教職実践演習(中等)

人間健康学プログラム群対象科目

プログラム名	人間関係学プログラム		ユーモア学プログラム		地域デザイン学プログラム		臨床心理学プログラム	
	配当年次	授業科目	配当年次	授業科目	配当年次	授業科目	配当年次	授業科目
基礎科目	1年次	人間関係学入門	1年次	ユーモア学入門	1年次	地域デザイン学入門	1年次	臨床心理学入門Ⅰ
	1年次	ソーシャルワーク論Ⅰ	1年次	笑い与健康	1年次	健康支援の社会システム	1年次	臨床心理学入門Ⅱ
応用科目	2年次	コーチング論	2年次	笑いの文学	2年次	スポーツ文化論	2年次	スポーツ心理学
	2年次	レクリエーション支援論	2年次	笑いの民俗学	2年次	地域福祉論Ⅰ	2年次	福祉臨床心理学
	2年次	家族福祉論	2年次	笑いの行動学	2年次	スポーツ経営学	2年次	生殖心理学
	3年次	福祉レクリエーション論	2年次	レクリエーション支援論	2年次	地域スポーツデザイン論	2年次	共感と多様性
	3年次	障害者スポーツ論	3年次	福祉レクリエーション論	3年次	社会起業論	2年次	メンタルヘルスと臨床心理学
演習・ 実習科目	2年次	コミュニケーション演習	2年次	レクリエーション実技Ⅰ	1年次	国際健康福祉実習(各テーマ)	1年次	臨床心理実習
	2年次	グループダイナミクス演習	2年次	レクリエーション実技Ⅱ	2年次	地域スポーツデザイン演習	2年次	ストレスとセルフコントロール
	2年次	野外教育特別演習	3年次	ユーモアコミュニケーション演習	2年次	レクリエーション実技Ⅰ	2年次	カウンセリング心理学Ⅰ
	2年次	野外教育実習(野外活動)	3年次	心理学演習	3年次	地域スポーツ演習	3年次	複雑性社会における自己実現
							3年次	カウンセリング心理学Ⅱ
							3年次	心理学演習

国際的な学び

人間健康学部では、グローバル社会が進展し多様な価値観の重要性が高まる中、多文化社会のあり方と国際的な「健幸(well-being)」の状況を理解することを目的とし、グローバルに活躍できる力を実践して身に付けることができる充実したプログラムを展開しています。

人間健康学部独自の国際留学プログラムは、**国際健康福祉実習**・**人間健康学海外研修**で展開しています。

国際健康福祉実習



ハワイ

本プログラムでは、健康福祉に関する現地大学での講義だけでなく、屋内外でのレクリエーション・プログラムの受講や社会福祉施設の見学、地域社会における農園を活用した地域福祉の実際などを体験的に学びます。また、事前指導では、現地実習時に必要となる基礎知識の習得と英語でのコミュニケーション能力の向上のためにE-Learningでの研修を行います。



インドネシア

本プログラムでは、現地学生と協働し児童養護施設の施設改善プロジェクトへの貢献や現地の高校などで、日本語の授業・日本文化の紹介・スポーツでの交流などを行います。また、ホームステイを通じて、現地の文化や宗教、生活様式を経験することで、グローバル人材に求められる基礎力の涵養をめざしています。



スウェーデン

本プログラムでは、福祉先進国・スウェーデンの福祉関連施設の見学や政策に関する講義、障がい者武道プログラムを通してその実態と国際福祉について体験的に学んでいきます。また、スポーツや武道などの身体文化領域と社会福祉領域の融合する実例を体験することで、人々の「健幸(well-being)」促進についての理解を深めていきます。事前指導では、現地とのオンライン授業を通して、スウェーデンのスポーツ、武道、障がい者福祉などについて詳しく学び、同時に英語運用能力の向上を図ります。



人間健康学海外研修



インドネシア

本プログラムでは、インドネシア共和国のバリ州とジョグジャカルタ市において開催されるサマーキャンプに約2週間(バリ島、ジョグジャカルタに各1週間)参加し、サマーキャンプの前後には、オンライン研修を行います。グローバル社会に必要な人間健康学の知識と技術を身に付けるとともに、異文化での環境におけるコミュニケーション能力(自分から発信する力、異なる考えを受信する力)の向上を目的としています。また、現地でのフィールドトリップを通して、文化の違いを超えてあらゆる人と協働できる力を養います。



ハワイ

国際健康福祉実習

もっと英語を学びたい！
新しいことにも積極的に挑戦したい！

実際に現地へ赴き、フラの講習や本場、大学バスケットの観戦、また、ハワイ州の経済状況やホームレスの現状について学びました。インターネットなどを通じて海外の情報をオンタイムに受け取ることができ、より海外が身近に感じられるようになりましたが、実際に見て・聞いて・触れることで、『自分の知らない世界を知る』ことができ、学びの多い時間となりました。異文化を体験することは、自身の視野を広げるだけでなく、自国の文化を理解するきっかけにもなりました。このプログラムを通して、語学力の向上だけでなく「実際に足を運び何事にも挑戦してみようという」心構えに変わり、今後は、単位認定留学を活用し海外留学に挑戦します！

スポーツと健康コース 2年次生
大江 優正さん
大阪/府立泉北高等学校



国際部の留学プログラムについて詳しくはコチラ▶▶▶

関西大学の留学情報

交換派遣留学

- 期間: 1~2学期間
- 行き先: 協定大学
- 単位認定: 有

関西大学と学生交換協定を結んでいる外国の大学に留学し、専門分野を学ぶ制度です。“外国語”で学ぶ力を養い、専門分野に関する見識を広げることができます。関西大学の学費を納入することで、協定大学での授業料は免除されます。

認定留学

- 期間: 1~2学期間
- 行き先: 正規大学付属の語学学校
- 単位認定: 有

所属学部において、留学によって学習の充実が期待できると判断された場合に「認定留学制度」が活用できます。基礎から外国語能力を身に付けたい人や就職活動に生かすために語学力に磨きをかけたい人が多く利用しています。

語学セミナー

- 期間: 約3~4週間(夏季、春季休業中)
- 行き先: 北米、ヨーロッパ、オセアニア、アジア など
- 単位認定: 有

語学研修に異文化体験をプラスした短期留学プログラムです。海外の大学附属の語学学校に通いながら、異国の文化や歴史、価値観を学ぶことが可能です。セミナー参加をきっかけとして長期留学を志す学生も多く、留学へのファーストステップとなっています。

地域連携事業

人間健康学部では、堺キャンパスのある堺市と連携協力し、「地域社会との連携による『ささえあい』『かわりあい』の文化を学ぶ実践教育を重視する」ことを特色として掲げ、教育・研究成果を地域に還元できるよう多様な取り組みを行っています。

みんなで踊ろう



いきいきとダンスを楽しむ
「場」と「時間」の創出をめざす

原田研究室では、堺市在住の高齢者を対象に健康のための身体ほぐしとダンス創作・表現活動「ダンス・ワークショップ」を行っており、2017年からは、舞台発表を目標に活動を続けています。公演の作品は、地域の参加者と本学学生がグループを組み、ダンス創作はもちろんのこと、衣装のデザイン・制作なども行い、「共創」を実現しています。参加者同士、年の離れた学生たちと共に活動することで、身体的・精神的・感性的に互いに影響し合いながら取り組んでいます。

堺コッカラ体操



楽しく身体を動かしながら脳を
活性化させる「堺コッカラ体操」

弘原海研究室が開発した堺市版介護予防体操「堺コッカラ体操」は、「ココロ」と「カラダ」を元気に「堺から(コッカラ)、子どもから高齢者までみんな一緒に」この体操から(コッカラ)元気になる!という思いが込められた体操です。短い体操(ブロック)を音楽に合わせて組み合わせることで、認知症予防に効果があるとされているデュアル・タスク(2つ以上の動作を同時に行う)を行うことができます。一人でも、隣の人と向かい合ったり、みんなでも楽しむことができる体操で、堺コッカラ体操を3カ月間実施した結果、高齢者の認知症予防、身体機能の向上に有効であることが分かっています。

あたらしい遊びの場



子どもの心身の成長と
「居場所づくり」を支援

村川研究室では2017年から子どもたちの「心身のウェルビーイング向上」をめざし、子どもたちが思いきり身体を動かしのびのびと遊ぶことのできる「あたらしい遊びの場」を行っています。堺市のいろいろな地域の小学1年生から6年生の子どもたちが同じ場所に集まり、安心安全に遊びながら楽しく身体を動かすことで、仲間意識が芽生え精神的成長にもつながっています。この活動を通して学生たちは、多様な子どもたち一人ひとりを大切に作る場づくりの方法を学び、堺市だけでなく他地域での活動に挑戦したり、その経験を生かした不登校支援プログラムに関わっています。

課外活動

堺キャンパスを拠点に活動する課外活動団体が多数あります。人間健康学部生は課外活動にも一生懸命取り組んでいます。



課外活動団体に
所属する学生
2023年度入学生

276人
/335人
※2023年5月現在

多彩な課外活動団体が活動中!

堺キャンパスを拠点に活動する 団体一覧

- BLACKYZ(ダンス)
- Bumps(バスケットボール)
- 関西大学 K.S Hearts(サッカー・フットサル)
- 関西大学軟式野球サークル HUMANS(軟式野球)
- がんば FLY HIGH(バレーボール)
- WEVO(ボランティア)
- いろは。(軽音楽)
- socios(バドミントン)
- p.t. KAYMO(舞踊・創作ダンス)
- TC Allegrone(テニス)
- 関西大学人間健康学部 準硬式野球部
- 人間健康学部祭典実行委員会(学園祭の企画・運営)
- 体育会 ソフトボール部女子

※2024年5月現在



スポーツと健康コース 2年次生
白川 翔大さん
愛媛/私立新田高校出身

『地域密着型のキャンパス祭をめざして』

私たち人間健康学部祭典実行委員会は、1~2年生を中心に約60名で活動しています。6月の堺キャンパス祭と大学全体で行われる統一学園祭を盛り上げるため、準備から運営までを担っています。堺キャンパス祭では、毎年、地域のみなさんに多数来場いただいております。研究発表や講演、フリーマーケットや模擬店など、小さなお子さんでも楽しめるような企画も考えています。各担当部局に分かれてミーティングを行い、委員長の私は、学外団体との交渉や各部局の進捗状況や課題をまとめています。みんなで話し合い、意見をまとめていくことの難しさはありますが、堺キャンパス事務局と連携を取りながら進めています。人間健康学部がめざす、地域とのつながりやささえあいを大切に、人間健康学部らしいキャンパス祭をめざしています。



いろは。



関西大学人間健康学部 準硬式野球部



BLACKYZ



がんば FLY HIGH



体育会 ソフトボール部女子

キャンパスカレンダー

人間健康学部でのキャンパスライフでは、
自分の目標にチャレンジし、地域や世界と関わる機会に満ちています。
さまざまな学びと体験を通して、自分らしい進路を切り拓いてください！

▶ 人間健康学部の1年(2024年度予定) 行事日程等は年度により変動します

▶ 両コース ▶ スポーツと健康コース ▶ 福祉と健康コース

4月

5月

6月

7月

8月

9・10月

11月

12月

1月

2月

3月

春学期授業期間
(4月上旬～7月下旬)

夏季休業
(8月上旬～9月20日)

秋学期授業期間
(9月21日～1月下旬)

春季休業
(2月上旬～3月31日)

▶入学式(千里山)
▶新入生指導行事(堺)
▶新入生オリエンテーション(上旬)

▶教育実習(中旬～実習先によって異なる)

▶堺キャンパス祭(下旬)

▶春学期末定期試験(下旬)
★サマーキャンパス堺(オープンキャンパス)

▶人間健康学海外研修(インドネシア)

★チャレンジキャンパス堺(オープンキャンパス)
▶社会福祉士国家試験対策講座開始(9月)
▶社会福祉士国家試験模擬試験(10月)
▶統一学園祭(千里山)(上旬)
▶ソーシャルワーク実習開始(10月～11月下旬)
2年次(60時間)、3年次(180時間)のソーシャルワーク実習を行います。
▶社会福祉士国家試験模擬試験(11月)
▶社会福祉士国家試験直前対策講座
▶卒業論文提出・卒論発表会
▶社会福祉士国家試験模擬試験(12月)
▶秋学期末定期試験(下旬)
▶研究成果報告会(卒業研究)

▶国際健康福祉実習(ハワイ・インドネシア・スウェーデン)
▶社会福祉士国家試験

▶卒業式(千里山)・学位記授与式(堺)(中旬)



教員紹介

人間健康学部の専任教員と主な研究分野をご紹介します。

スポーツと健康コース

■ 研究分野 ■ 学生の研究テーマ例



神谷 拓教授
■体育科教育学 ■スポーツ教育学
■運動部活動における自治集団活動の意義と課題
■異質協同のグループ学習の分析
ー中学校の泳泳授業を対象にしてー



河端 隆志教授
■スポーツ・環境生理学 ■運動・環境適応学
■スポーツ選手における5-A.L.A.の摂取が運動時に与える影響についての研究
■陸上長距離走におけるトレーニング量とパフォーマンス向上、怪我の発症の関係について



小室 弘毅教授
■ホリスティック教育学 ■身心教育学
■日本の健康至上主義を問い直すー幸福な国々の「死生観」から見る健康ー
■生きるためのファッションーファッションを読むー
■見えない空気を考えるーエンタメにおける人の雰囲気と場の空気ー



雑古 哲夫教授
■バイオフィードバック
■運動生理学
■緊張を抑制し、最高のパフォーマンスを
■過緊張がスポーツに及ぼす影響力



志岐 幸子教授
■感性論 ■スポーツ感性学
■プロ野球におけるユニフォームの色彩と競技成績
■ソフトテニス競技におけるゾーン状態時と平常時の脳血流量の比較検討



谷所 慶教授
■健康・スポーツ科学
■レジャースポーツの指導に関する調査
■運動習慣やトレーニングが腎臓形状に及ぼす影響



灘 英世教授
■救急安全
■トランスジェンダーのスポーツ参加についての考察
■身体疲労がスリーポイントシュートの成功率に及ぼす影響



西山 哲郎教授
■スポーツ社会学 ■文化社会学
■野球＝丸刈りのイメージと髪形の自由化について
■日本でのeスポーツ文化の普及・促進に対するー考察



原田 純子教授
■舞踊教育学 ■舞踊学
■創作ダンスの体験における変化と成長
ー授業における質問紙調査と作舞体験よりー
■舞踊作品における衣装の役割



彦次 佳教授
■スポーツ老年学 ■スポーツプロモーション ■スポーツ社会学
■スポーツ・ボランティア参加のレガシーに関する研究
ーマスターズ甲子園のボランティア参加者を対象としてー
■紀美野ふれあいマラソンによる地域活性可能性



村川 治彦教授
■宗教学 ■身体文化論 ■屋台を通して地域交流
ー大学周辺の浅香山地域の問題解決と共にー
■生態系を守る協生農法の実践ー持続可能な農業を目指して



森 仁志教授
■文化人類学 ■文化史
■革新的なアイデアを生み出す方法
■女子サッカーの普及
ーセレッソ大阪堺レディース・プロジェクトー



安田 忠典教授
■人間健康論
■多文化共生社会の実現に向けてー大学生による国際交流イベントの開催
■南海電鉄との協働による社会課題解決への挑戦



涌井 忠昭教授
■健康・スポーツ科学 ■レクリエーション
■レクリエーション活動が認知症高齢者に及ぼす効果
■レクリエーション活動が大学生の身体活動量、ストレス、気分および体調に及ぼす影響



弘原海 剛教授
■運動生理学 ■運動処方
■炭水化物マウスリンスが運動パフォーマンスに及ぼす影響
■パブリカキサンフィル摂取が認知機能に及ぼす影響



浦 和男准教授
■比較文学 ■比較文化論
■アートとユーモアの関係性
■スポーツ指導におけるユーモアの必要性



佐野 加奈絵准教授
■骨格筋メカニクス
■スポーツバイオメカニクス ■運動学
■競技種目や役割の違いが下肢筋形状に及ぼす影響
■長距離選手の高い走効率を可能とする走動作の特徴



久保 友美特別任用准教授
■地域デザイン学
■スポーツが他世代交流に与える影響について
■スポーツを活用した地域人材教育のアプローチについて



秋原 悠特別任用助教
■健康・スポーツ科学 ■スポーツ運動学
■チームビルディング(コーチング)
■体組成と体力テストの関係 ■スクワット時の足幅とパフォーマンスの関係 ■体験学習前後の人間関係やコミュニケーションスキルについて

福祉と健康コース

■ 研究分野 ■ 学生の研究テーマ例



植田 紀美子教授
■公衆衛生学(障がい児者)
■小児臨床遺伝学
■母子保健学
■障がいのある方やそのご家族の心身の健康と生活
■マタリトメントからみた妊娠期からの子育て支援



岡田 忠克教授
■社会福祉政策
■社会福祉協議会から見る地域の特性とこれからの課題
■児童虐待防止に向けてー親子の支援と家族再統合の必要性ー



種橋 征子教授
■高齢者福祉 ■介護福祉
■福祉経営
■認知症高齢者と家族の支援
■介護職員の働きやすさ



西川 知亨教授
■福祉社会学
■社会病理学
■社会的相互作用論
■歴代魔法少女アニメの変遷と社会状況
■食品CMから見るワークライフバランスの変化



福田 公教教授
■福祉社会学
■子ども家庭福祉論
■里親登録者数増加に向けて
■ひとり親家庭の現状と支援における今後の課題



森田 亜矢子准教授
■心理学
■認知科学
■ユーモア・ことば・色彩とデザイン
■音と音楽の心理学
■コミュニケーションと人間関係の心理学
■アスリートの心理的スキル



所 めぐみ教授
■地域福祉論 ■ソーシャルワーク
■福祉教育
■人と人がつながる地域づくりを目指した福祉教育のありかた
ー和歌山県有田市のフィールドワークからー
■再犯者に対する自立支援の考察ー特別調整支援を受ける高齢出所者の語りから考えるー

心理学系

■ 研究分野



池見 陽教授
■心理療法学
■フォーカシング・傾聴・マインドfulness等の心理療法の方法



石田 陽彦 教授
■教育臨床
■地域臨床心理学



岡田 弘司教授
■臨床心理学・臨床心理学的アプローチ



北村 由美教授
■福祉臨床心理学
■発達臨床心理学



小海 宏之教授
■臨床心理学
■神経心理学



寺嶋 重典教授
■臨床心理学(心理アセスメント、投映法)
■ストレス・マネジメント



香川 香教授
■臨床心理学
■メンタルヘルス



中田 行重教授
■ロジャース派の心理療法
■PCA/PCT
■地域臨床を含む心理支援

就職実績

人間健康学部2023年度就職率は、99.7%（男子99.4%、女子100%）と、例年通り高い実績を上げることが出来ました。公務員・教員採用試験や社会福祉士合格者も多く、学部での学びを生かした就職・進路をとる者が多いのが特徴です。

就職率

就職率

99.7%

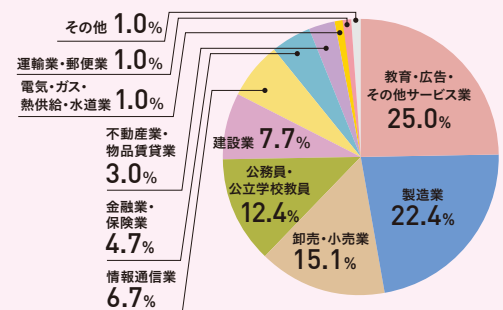
男子学生

99.4%

女子学生

100%

業種別就職状況



キャリア形成、就職活動支援プログラム

自分を磨き、キャリアデザインを始めよう	就活に向けて準備をしよう	働く世界を知ろう	進路を決めよう
1~2年次 自らの知識を増やし、スキルを磨きながら仕事や社会について学びます。また「なりたい自分」を見つけ、そのための準備をします（＝キャリアデザイン）。 実社会と出会い、社会人基礎力を育む ● 企業連携型キャリアスタートプログラム キャリアデザインを考えるセミナー・科目 ● キャリア形成科目（群） 就業体験・インターンシップ ● KU協定型就業体験プログラム など	3年次 就業体験・インターンシップへの応募や参加、各種講座の受講、OB・OGとの交流を通して、本格的な就職活動の準備・対策を進めていきます。 ガイダンス・各種対策セミナー ● 就職ガイダンス ● 公務員ガイダンス ● 就活スキルアップセミナー ● 就活対策講座（業界・企業研究、学力試験対策、自己分析・エントリーシート対策など） ● オンライン斉模擬テスト ● 超優良企業解説セミナー ● グループ面接実践会 就業体験・インターンシップ	働く世界を知ろう 企業や省庁・団体と出会うセミナー ● 業界研究セミナー ● 企業研究セミナー ● 合同業界（企業）研究セミナー・単独企業研究セミナー ● 公務員採用試験・業務説明会 先輩・社会人と交流するセミナー ● キャリアサポーター行事 ● OB・OG懇談会	4年次 支援プログラムを活用し、セミナーなどに参加しながら、一人ひとりに合った進路をめざします。 ● 単独企業研究セミナー ● 合同企業研究セミナー ● 就活集中講座

卒業生インタビュー

教員や社会福祉専門職はもちろん、人間健康学部の学部生は、「健康(well-being)」に関する幅広い知識と地域連携活動による実践的な学びを生かし、さまざまな分野で活躍しています。



2023年3月
スポーツと健康コース 卒業
長谷川 騎士さん
(静岡／県立沼津城北高等学校出身)

現在に生きている
在学中の経験は？

人間健康学部では地方創成を目的とした活動が積極的に行われています。ゼミ活動の中で得た「現場視点をもたなければクリエイティブな課題は見えてこない」という学びは、課題解決をサービスの価値として提供する現在の仕事でも役に立っていると感じています。

デロイト トーマツコンサルティング合同会社 勤務

日本の産業の活性化につながる、
社会性の高い仕事にやりがいを感じています。

政府・省庁・地方自治体や各業界のリーディングカンパニーに対して、事業の戦略策定から実行までを、コンサルティングサービスとして提供しています。中でも私はテクノロジーを軸に企業の業務改善や改革の支援に従事しています。私は地方自治体の抱える業務課題を解決することで、地域産業を復興させたいという思いからこの仕事を選びました。クライアントが抱える課題の解決に向けた「価値」を提供することは、日本の産業の活性化、社会貢献へと結び付いていると感じ、日々のやりがいにつながっています。



2023年3月
福祉と健康コース 卒業
大政 祐里奈さん
(愛媛／県立松山中央高等学校出身)

現在に生きている
在学中の経験は？

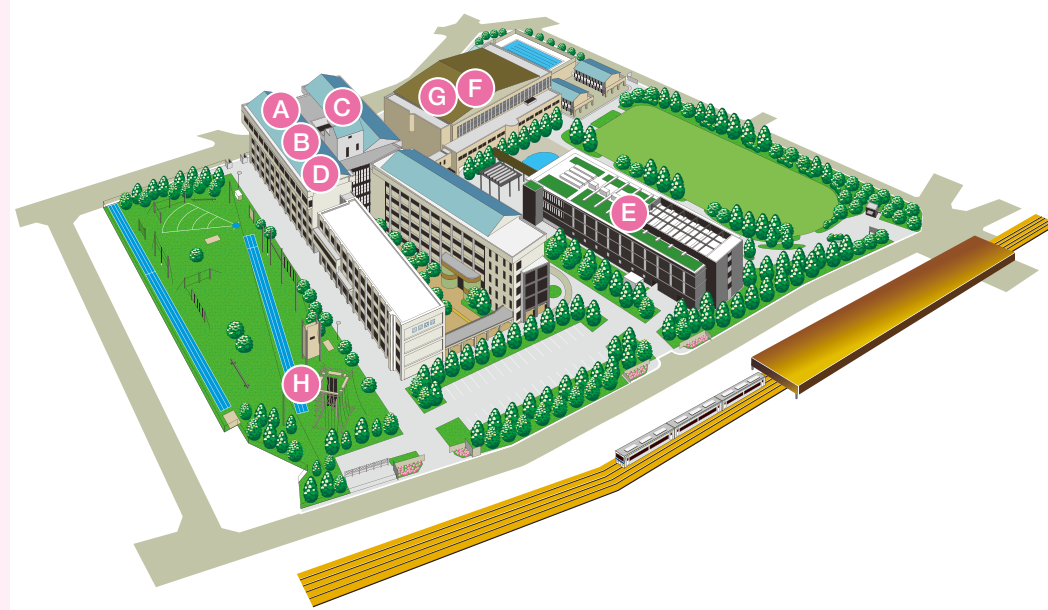
スタディスキルゼミなどの授業で、入学後からさまざまな人と関わる事ができました。また、相談援助演習でのグループワークを通して、多くの人の意見を聞き、共感をもとに協働することができました。この経験は、現在の業務に通じていると感じます。

松前町役場 勤務

子育てがしやすいまちづくりを通して
地域の活性化に貢献しています。

社会福祉士として、子育て世代包括支援センターで妊娠から子育て期までの支援を行っています。私の地元である松前町は少子高齢化が進んでおり、まちを次の世代に引き継ぐためには子育て支援が大切になります。そこで、社会福祉士として子育て支援業務に携わり、子育てがしやすいまちにすることで少子高齢化に歯止めをかけ、地元貢献できるこの仕事を選びました。卒業までに社会福祉士の資格を取得したことで、福祉について幅広い知識を得ることができ、現在の子育て支援業務にも役立っています。

SAKAI CAMPUS 堺キャンパス



堺キャンパスの
さらに詳しい
施設情報は
こちらから！



恒温恒湿室(運動・環境生理学実験室)



健康運動生理学実験室



ケアワーク実習室



ラーニング・commons



図書館



トレーニングルーム(Fitness Crew)



体育館(アリーナ、格技・実習教室)



体験学習エリア

堺キャンパス蔵書数
54,645冊
※2023年3月現在

キャリアセンター堺キャンパス分室

キャリアデザインをサポートするため、
就職や進路選択に関するさまざまなキャリア、
就職支援プログラムを実施

人間健康学部生の就職・進路相談の拠点。就職支援プログラムの実施や各種情報提供を行っています。学生一人ひとりに対して親身になって相談に乗ってくれる専門スタッフが常駐しています。



大学院人間健康研究科について

健康・スポーツ研究を通じて、
人間社会の健康と福祉に貢献する

本研究科では、既存の体育・スポーツ系研究機関が主目的としてきたスポーツ競技力の向上だけでなく、身体活動やスポーツを通じて人間の健康や幸福の促進に関する研究や実践を重視しています。これは、健康増進法(2002年)やスポーツ基本法(2011年)の理念とも通じており、ヘルスプロモーションとスポーツプロモーションの2つの観点から健康(health)と健康(well-being)を地域社会で実現することをめざすものです。本研究科ではスポーツを通じた社会関係資本の蓄積や、健康増進および健康福祉支援事業の実践を推進できるような人材を育成します。中学校・高等学校の保健体育科専修免許状をもつ指導的教員や、関連分野における高度専門職業人を養成し、さらにはNPOやNGOといった市民活動のリーダーを輩出することが目標です。同時に、社会問題を解決に導くのに必要な学際的な視野と実践力をもった研究者を育てます。